

---

平成23年度 JCC 第二回総会ご報告

# 農業クラウドWG 活動報告

2011年12月22日

主査：富士通株式会社

# 1. 農業クラウドWGメンバー

農業クラウドWGメンバー

項	社名／団体名
主査 富士通株式会社	
1	農林水産省
2	宮崎県
3	大分県
4	香川県
5	国立大学法人 東京大学
6	一般社団法人ALFAE
7	株式会社IDCフロンティア
8	株式会社イーラボ・エクスペリエンス
9	財団法人 衛星測位利用推進センター
10	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
11	エプソン販売株式会社
12	共栄火災海上保険株式会社
13	株式会社JIPMソリューション
14	有限会社新福青果
15	株式会社セールスフォース・ドットコム
16	デロイトトーマツ コンサルティング株式会社
17	有限責任監査法人 トーマツ

18	財団法人電源地域振興センター
19	西日本電信電話株式会社
20	有限会社 西日本農業社
21	日本電気株式会社
22	日本マネジメント総合研究所
23	財団法人ハイパーネットワーク社会研究所
24	株式会社日立コンサルティング
25	株式会社日立ソリューションズ
26	株式会社 富士キメラ総研
27	日本マイクロソフト株式会社
28	ミツイワ情報株式会社
29	三菱商事株式会社
30	株式会社 ラムズ
31	株式会社リコー
32	富士通株式会社
33	大日本印刷株式会社
34	NECフィールディング株式会社

34団体

## 2. WG活動計画（中長期）

### ■2011年度（4～5回）

- ①WGメンバの自治体をモデルに、行政サービスとしての農業クラウドの構築・提供・運用に向けた課題と実現方向性
- ②農業クラウドのプラットフォーム機能やアプリケーションI/F、開発・検証すべき技術課題等の検討（以下、例）
  - ・圃場ネットワーク
  - ・web間のデータ連携
  - ・暗黙知の形式知化に向けたマイニングの高度化
  - ・農地情報GIS(水土里ネット)活用に向けた個人情報の扱い
- ③流通、小売などの購買側(実需者)の利用ニーズ把握

### ■2012年度

- ・今年度の検討を踏まえた実証実験

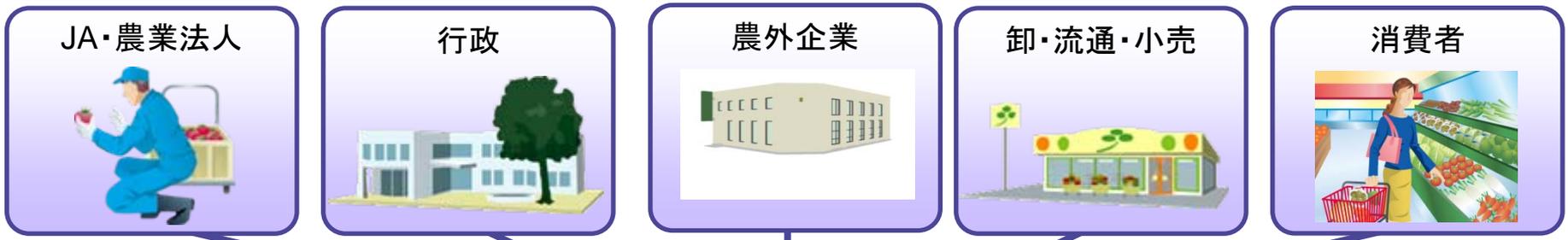
### ■2013年度

- ・地域での普及に向けた提言

# 3. WG活動（今年度）

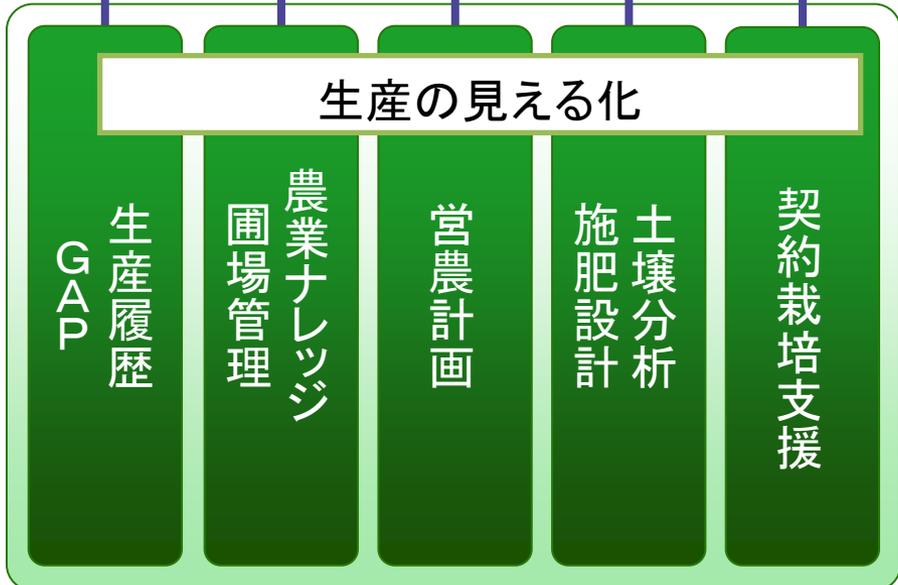
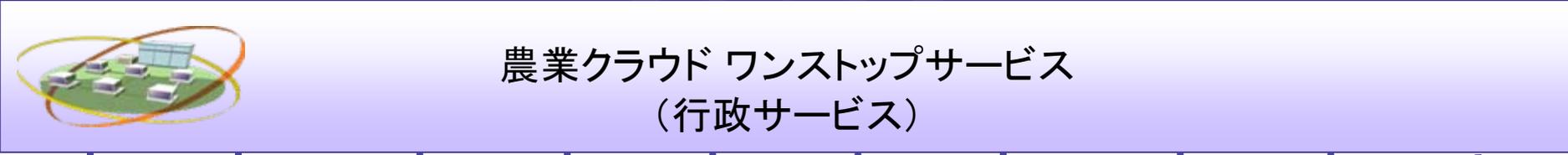
- 第一回(3/23開催)  
主査からWG主旨説明、WGメンバーから期待や提案
- 第二回(4/19開催)  
大分県庁様と行政サービスとしての農業クラウドの意見交換
- 第三回(4/20開催)  
宮崎県庁様と行政サービスとしての農業クラウドの意見交換
- 第四回(5/26開催)  
県庁との意見交換報告、農業クラウドの技術的課題意見交換  
会員各社の農業振興に資するソリューションについて
- 第一回総会(7/20)
  
- 第五回(8/3開催)  
農業とICTに関する勉強会(講師:農林水産省様)
- 第六回(10/28開催)  
農業クラウドにおけるアプリ/データ連携について

# 4. 農業クラウドイメージ



情報ハイウェイ、公衆網、高速無線ネットワークなど

《サービス体系》



## 5. 平成24年度に向けた検討事項（第6回WG資料より）

### 1. 実証実験の目的／範囲

- ①自治体主導の農業クラウドモデル
- ②異なるアプリケーションベンダーのサービス提供の技術小検証
- ③ ②の規模、範囲、利用者を拡大した技術検証
- ④利用者～ICTベンダーの直接サービス提供モデルへの移行

} H24年度

### 2. 実証実験場所

JCC会員自治体様を念頭に実施を提案します

### 3. 期間

別途

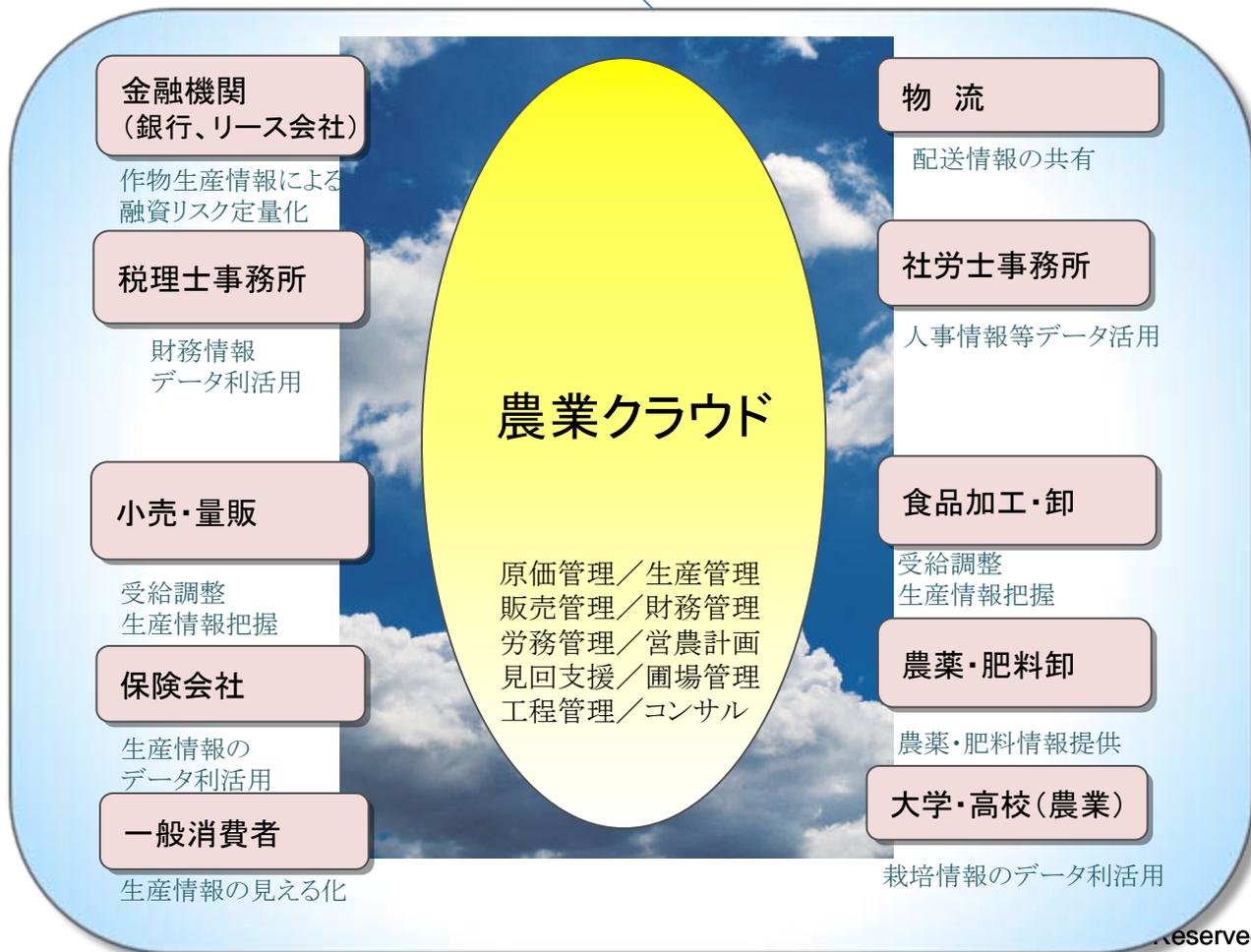
### 4. 参加者

JCC会員、自治体、生産者団体、食農関係企業等

# 農業クラウドサービスイメージ

- 農業生産者、資材、加工流通等食農関係者
- 自治体、研究機関など
- 例) 物流、金融等民間など

自治体ポータル



	メリット	デメリット
①システム修正	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ連携密</li> <li>・セキュリティ強</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリ移植費用発生</li> </ul>
②Odata連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データ連携密</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Odata向け改修要</li> <li>・セキュリティ対策要</li> </ul>
③web連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存アプリが流用できる(費用安)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象サイトに制限有</li> <li>・サイトデザインの変更のフォローが要</li> </ul>

## 6. WG活動振り返り（中間）

①WGメンバの自治体をモデルに、行政サービスとしての農業クラウドの構築・提供・運用に向けた課題と実現方向性

→1～5回WGでヒアリング、議論

- ・自治体：農業の産業化、6次産業化に向けた1次×2次×3次連携  
農業試験場等において、既に蓄積しているが活用できていないデータ(栽培試験データ等)について、ICTを活用して食農関係者に利用できないか

地域農業活性化にICTツールの活用も重要

- ・農産者：生産技術の共有、実需者とのマッチング、圃場監視 等
- ・農外利用者：動産担保による融資の評価ツール(銀行)
- ・WGメンバ：家庭菜園、フィールドサーバ、みつばちプロジェクト

方向性⇒行政サービスとしての農業クラウドサービスニーズあり

②農業クラウドのプラットフォーム機能やアプリケーションI/F、

→第6回WGで検討開始

③流通、小売などの購買側(実需者)の利用ニーズ把握

→WGメンバに協力をいただき、現在情報収集を検討中